

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

令和8年度科目等履修生出願可能科目表

科目等履修生希望の方は、以下の注意事項を必ず読んでください。

- 本学修士課程「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」で開設している授業科目のうち、科目等履修生を受け入れている科目を「科目等履修生出願可能科目表」に掲載しています。掲載のない科目は出願できません。
- 「科目等履修生出願可能科目表」は、毎年度更新されます。また、科目開講学期、開講曜日・時限、担当教員等は年度途中で変更となる場合がありますので、出願前にもう一度内容をご確認のうえ、出願をしてください。
- 免許法上の対応について
2019年度新設の「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」は、文部科学省から教職課程認定を受けていないため、科目等履修生として修得した単位を、専修免許の取得申請の際に使用することはできません。
- 授業時間について

第1時限	8:30～10:10
第2時限	10:20～12:00
第3時限	12:50～14:30
第4時限	14:40～16:20
第5時限	16:30～18:10
第6時限	18:20～20:00
第7時限	20:10～21:50

教育学研究科(修士課程)令和8年度科目等履修生出願可能科目表

専攻基盤科目

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基盤	次世代日本型教育と国際社会	2	○下田誠、若林恵、出口雅敏、橋村修、水津嘉克	アジアやヨーロッパなど諸外国の教育と社会をめぐる諸問題について考察・議論する。		○		水 6			AL 1 教室	16110030

専攻基礎科目

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基礎	教育ネットワーク論	2	近藤弘幸	教育支援のネットワークによって営まれる学校教育のあり方について課題を設定し、グループワークを中心としつつ、さまざまな視点から研究する。		○		木 6			AL 4 教室	16420010

専攻展開科目

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開	次世代日本型教育：理論と実践・基礎	2	小森伸一	日本の教育で重視される「生きる力」と「体験」を主題に、昨今注目される「グリット」「レジリエンス」「自己肯定感」「自尊感情」等の非認知能力の向上に着目しつつ検討していく。	○		火 4					16130010
専攻展開	次世代日本型教育：理論と実践（地域A）	2	水津嘉克	社会学の考え方で即したかたちで、現代社会の中の様々なテーマを取り扱う。必ずしも受講学生の専門が社会学でなくとも、社会学的な分析視点（論理的思考）を身につけてもらうことを目的とする。	○		金 4					16130020
専攻展開	次世代日本型教育：理論と実践（地域B）	2	橋村修	前近代の日本列島周辺の各地域の歴史事象を歴史地理学、民俗学、文献史学を融合させながら解明する手法を検討する。	○		水 3					16130030
専攻展開	次世代日本型教育：理論と実践（地域C）	2	出口雅敏	本演習では、学校教育に多文化共生の視点を導入するため、文化人類学・民俗学をはじめとする文化研究と教育をつなぐ、理論と実践の方法を探る。	○		木 5			中央 6 号館 3 階 欧米研究演習室		16130040
専攻展開	次世代日本型教育：理論と実践（宇宙地球）	2	橋間昭徳	現在の固体地球科学の理解に欠かせない連続体力学や観測されたデータの解析法などの基本理論について、英文の教科書や専門論文の読解や演習を通じて理解を深める。	○		火 2					16130070
専攻展開	地域文化・基礎	2	加賀美雅弘	世界の諸地域の文化をグローバル化とローカル化のなかで考察する。	○		木 4					16130110
専攻展開	地域文化（日本）	2	水津嘉克	論文を書くうえで必要な、調査の考え方・手法について学習し、実際の調査のための「知識」を身につける。		○	木 3					16130370
専攻展開	地域文化（アジア）	2	下田誠	中国古代史の基本問題を取り上げる文献を講読し、基本的な方法論を身につける。		○	月 2			西 2 号館 2 階 第 3 会議室		16130130
専攻展開	地域文化（ヨーロッパ）	2	若林恵	ドイツ語圏の文学作品や文献を用いて、人間形成や教育について考察・議論する。		○	金 4					16130160
専攻展開	地域文化（社会人類学）	2	小西公大	社会人類学の基礎的な文献にあたりながら、グローバル化時代におけるローカリティの生成のメカニズムを学ぶ。		○		月 6				16130170
専攻展開	異文化間交流・基礎	2	下田誠	東アジア地域の多様性の認識と漢字文化圏としての歴史のなりたちを基礎に、キャンパス・アジア構想を考える。		○	月 2			西 2 号館 2 階 第 3 会議室		16130180
専攻展開	異文化間交流（移民・難民）	2	加賀美雅弘	都市に暮らす移民・難民・外国人の居住地区的景観に着目して、共生について考察する。		○	木 4					16130190
専攻展開	異文化間交流（文化概念）	2	小西公大	文化概念の発生と現代的用法を通じて本質主義と構築主義のせめぎ合ボリティクスとしての文化的現象を捉える。		○		月 6				16130200

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期	曜日・時限	開講情報			授業コード	
							春期	秋期	1~5限		
専攻展開	異文化間交流（文化芸術）	2	有澤知乃	民族音楽学の研究課題と方法を文献講読や映像資料の分析を通して学ぶ。広く世界の様々な音楽文化を扱う。	○	火2					16130380
専攻展開	異文化間交流（文化人類学）	2	出口雅敏	文化人類学、文化研究の専門論文やエヌグラフィーを精読しながら、グローバル化時代の文化研究の理論と方法を習得する。	○	木3				中央6号館3階 欧米研究演習室	16130210
専攻展開	異文化間交流（異文化理解）	2	橋村修	比較民俗学、地誌学、歴史地理学的視点に立った異文化理解の方法について、民俗や農業漁業の技術伝承の比較を事例に考察する。	○	水3					16130220
専攻展開	異文化間交流（歴史理解）	2	若林恵	ドイツやスイスの「過去の克服」と歴史教科書に関する文献を読み、考察する。	○	火3					16130230
専攻展開	Project Study on Education in Japan B	2	小森伸一	This lecture addresses the core concept of "Gaia Education," as sustainability Education, former certificated educational program by UNESCO, which focuses on sustainable society in the educational context.	○			火6			16130270
専攻展開	日本語教育ⅠA	2	岡智之	日本語教育の教育内容としての、日本語の文法を言語学的手法（認知言語学、対照言語学）を用いて分析し学ぶ。また日本語教育への応用について考える。	○		金4				16130280
専攻展開	日本語教育ⅠB	2	許夏玲	日常会話において、ある表現が実際どのように使用されているのか、聞き手がどのように話し手の発話意味を解釈するのかを語用論の観点から考察し、現代の日本語研究への応用について考える。	○		水2			教室未定	16130290
専攻展開	日本語教育ⅠC	2	小西円	日本語教育の方法論について理解を深めるため、コーパスを用いた研究の基礎を学ぶ。また、量的研究と質的研究の往還を図る。	○		火2			教室未定	16130300
専攻展開	日本語教育ⅡA	2	岡智之	本授業では、日本語の論理に基づく日本語文法の体系化を目指して、「場の言語学」を学び、その記述と応用可能性について考えていく。もって、日本から発する日本語の論理に従った文法とその教育を世界に提案していく。	○		金4				16130310
専攻展開	日本語教育ⅡB	2	許夏玲	対照言語研究を含め、日本の談話研究における視点を見る。本授業では、理論と実践の両方を重視し、先行研究の事例をもとにディスカッションを行うほか、会話データの文字化を練習するなどで、談話研究への認識を深めていく。	○		水2			教室未定	16130320
専攻展開	日本語教育ⅡC	2	小西円	日本語学習者の産出する言語や日本語教育の教材の分析を通して、教材開発の力を養う。また、言語能力・コミュニケーション能力について考える。	○		木2			教室未定	16130330
専攻展開（情報AI領域）	知的ソフトウェアシステム論	2	榎山淳雄	人工知能技術を用いたソフトウェアシステムについて、人工知能技術をどのようにシステムの設計・開発に用いているのかを学ぶ。	○		火2			中央1号館1階 情報演習室 N106	16230040
専攻展開（情報AI領域）	人間情報学論	2	加藤直樹	人間情報学のうち特にHuman Computer Interactionを取り上げ、AI等のICTを適用する教育情報システムとの関係について学ぶ。	○		火4			中央5号館3階 新たな学びの部屋	16230050
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー総論	2	○関口貴裕、宮寺庸造、中野幸夫	これから社会を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー（実際的な資質・能力）の諸相について、主に心理学を理論的基礎として学ぶ。	○		月3			教室未定	16231010
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（発達）A	2	榎原知美	21世紀を生きる子どもたちに必要なコンピテンシーのうち、数量概念の発達など認知の発達と文化に関わるものを中心して学ぶ。	○		水3				16231050
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（認知）	2	○犬塚美輪、関口貴裕	科学技術・情報技術が進化し続ける社会に必要なコンピテンシーについて、認知スキル、学習スキル等を中心に、心理学を基礎として学ぶ。	○		月2				16231070
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（社会）A	2	杉森伸吉	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー（実際的な資質・能力）のうち、集団心理学に関するコンピテンシーについて学ぶ。	○		木4				16231080
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	ヒューマン・コンピテンシー各論（社会）B	2	品田瑞穂	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー（実際的な資質・能力）のうち、対人関係に関するコンピテンシーについて、社会心理学を基礎として学ぶ。	○		月3				16231090
専攻展開（コンピテンシー・学校心理領域）	アントレプレナーシップ論	2	小宮山利恵子	イノベーションがどのように創出されるか、またそれに欠かせない起業家精神とは何かについて基礎を学ぶ。	○		水2			教室未定	16231110
専攻展開（教育内容・実践領域）	文化社会系先導の教育応用実践論（言語）	2	白勢彩子	日本語の音声言語を、方言や他言語を比較しつつ学ぶことを通じて、言語の規則性や特質を理解する。また、これらの学びを踏まえて言語教育における音声言語の扱い、実践について考える。	○		水3			研究室	16232010
専攻展開（教育内容・実践領域）	文化社会系先導の教育応用実践論（文化）	2	木村守	日本漢字の比較について考察するとともに、漢字の文化・背景と漢字コードの関係について理解する。また、これらの学びをとおして、ICT活用における漢字（文字）の活用・実践について考える。	○		木5			教室未定	16232140

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報		授業コード
					春期	秋期	1~5 限	6~7 限	隔年 情報	集中 方式	
専攻展開（教育内容・実践領域）	身体系先導の教育応用実践論（医学）	2	斎藤徳道	医学および運動処方領域の基礎とAIとの接点を学ぶ。		○	木3				16232150
専攻展開（教育内容・実践領域）	身体系先導の教育応用実践論（心理）	2	奥村基生	体育・スポーツ心理学における基本的な理論を学ぶ。		○	金1			研究室または東3号館1階演習室	16232050
専攻展開（臨床・発達心理学領域）	発達障害臨床心理学演習	2	池田一成	発達臨床の実践を基礎づける発達障害学や発達神経科学の知識について、講義と演習形式を通して学ぶ。		○	火3			東5号館1階教材開発研修室	16330090
専攻展開（臨床・発達心理学領域）	臨床生理心理学特論	2	池田一成	生理指標を用いた心理学的アセスメントの方法について全般的な知識と技能を学ぶ。		○	火4			東5号館1-5室	16330150
専攻展開（教育臨床領域）	発達臨床心理学フィールド研究	2	橋本 創一	保育・学校教育フィールドでの幼児児童生徒の保育・教育カウンセリングと発達支援・教育支援について講義・演習形式(実習含む)で学ぶ。		○	金2				16331090
専攻展開（教育臨床領域）	学校臨床・支援システム特論	2	橋本創一	通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の教育支援・発達支援・学校カウンセリングなどの現代的課題について臨床心理学・教育臨床学から講義する。		○	月5				16331110
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－生涯学習協働論A	2	君塚仁彦	子どもたちの健やかな成長や発達を目的とする学校教育と生涯学習との連携・協働について、美術館や博物館等の先進的な事例を紹介しながらその意義を論ずる。		○	木5				16430010
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－生涯学習協働論B	2	倉持伸江	社会教育・成人教育の視点から、地域コミュニティにおける協働のあり方について、教育支援人材および専門職の役割や養成・研修についてなど、実践的・理論的に検討する。		○		火6			16430020
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－生涯学習協働論E	2	大森直樹	学校教育と生涯学習の歴史と課題について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。		○		火4		東5号館3階防災学習室	16430050
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－文化遺産教育協働論A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関する研究成果をどのように学校教育等に生かしていくべきか、その方法を検討する。		○		木1			16430060
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－文化遺産教育協働論B	2	新免歳靖	現在の教育現場における文化遺産・文化財の活用例を通して、その課題と方法を検討する。		○		火5			16430070
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論B	2	岡田哲郎	学校教育と地域社会の関係をふまえ、両場面が機能するため必要な地域福祉の実践、多様な主体による協働について検討する。		○		金3			16430100
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論C	2	角田慰子	障害のある子どもの発達プロセスを踏まえ、学校教育とソーシャルワーク協働の課題について検討する。		○		水3			16430110
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論D	2	露木信介	「医療と福祉」をテーマとし、教育環境を整える上で必要となるソーシャルワーク実践理論について考察する。		○		月3		西6号館3階304演習室	16430120
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論E	2	梅山佐和	スクールソーシャルワークの視点から、子ども家庭を支える多機関が協働するための実践的な理論と方法について学ぶ－総合的・包括的アセスメント－		○		火4		西6号館3階304演習室	16430130
専攻展開（教育環境領域）	学校教育－ソーシャルワーク協働論F	2	梅山佐和	学校教育－ソーシャルワーク協働論Eの内容をふまえて、スクールソーシャルワークの視点から、子ども家庭を支える多機関が協働するための実践的な理論と方法について学ぶ－徹底的プランニング－		○		火4		春学期の学校教育－ソーシャルワーク協働論Eの内容を理解していることを前提に展開する。	16430140
専攻展開（教育環境領域）	学校スポーツ活動支援論A	2	久保田浩史	運動部活動について、様々な支援者（顧問、外部コーチなど）の立場から考える。		○		月2			16430160
専攻展開（教育環境領域）	学校スポーツ活動支援論B	2	森山進一郎	学校でのスポーツ活動の支援や指導に必要となるスポーツ科学的知識について、幅広い視点から考察する。		○		月1			16430170
専攻展開（教育環境領域）	学校教育と日本語・母語学習支援論A	2	范文玲	日本語指導が必要な児童の抱える問題や取り組み、学校との協働による支援について検討する。		○		火2		中央6号館1階アジア研究演習室	16430180
専攻展開（教育環境領域）	学校教育と演劇・映像B	2	花家彩子	演劇を中心としたパフォーミングアーツと教育活動の関係について、文献の講読をとおして学んでいく。		○		月2			16430220
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習A	2	君塚仁彦	コミュニティ形成における生涯学習の役割について、地域と連携し協働するフィールドミーティングアムや博物館・美術館など活動の事例を中心に論じ。考察を深める。		○		木5		中央7号館4階社会教育実験室	16431010
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習B	2	倉持伸江	学び合うコミュニティの形成とその支援のあり方について、特にファシリテーターーやコーディネーターの役割を求められる支援者の力量形成について、省察的実践論などを基盤に理論的・実践的に検討する。		○		火6			16431020
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と生涯学習E	2	大森直樹	地域教育と人権教育について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。		○		火4		東5号館防災学習室	16431050

科目区分	授業科目名（日本語表記）	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と文化遺産教育A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように地域社会の中で生かしていくことができるか、その方法を検討する。	○		木5					16431060
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と文化遺産教育B	2	新免靖晴	地域の中にある多様な文化資源を見つけ出し、活用する調査・研究方法について検討する。	○		火3					16431070
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論B	2	岡田哲郎	地域の歴史・条件に即した共生社会の実現に寄与するコミュニティワーク、地域アセスメントの方法について学び、考察する。	○		水3					16431100
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論C	2	角田慰子	政策課題として「地域共生社会」が提起された背景を学び、地域で暮らす知的障害者の生活支援について考える。	○		木3					16431110
専攻展開（地域創生領域）	地域共生社会論D	2	露木信介	チーム医療とチーム学校との連携協働、統合や、地域を基盤とした包括的支援体制の構築に必要となるソーシャルワーク実践理論について考察する。	○		火4					16431120
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティスポーツ推進論A	2	久保田浩史	地域におけるスポーツ活動・イベントについて、実情を学び、その支援について考える。	○		金1					16431140
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティスポーツ推進論B	2	森山進一郎	地域でのスポーツ活動の推進について、事例や具体的な方法について検討し、考察する。	○		水1					16431150
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と言語・文化学習支援論	2	范文玲	外国にルーツを持つ子供たちのための、言語・文化学習面でコミュニティ形成・支援を検討する。	○		火2			中央6号館1階 アジア研究演習室		16431160
専攻展開（地域創生領域）	コミュニティ形成と演劇・映像D	2	花家彩子	演劇を中心としたパフォーミングアーツと教育活動の関係について、文献の講読をとおして学んでいく。	○		月2					16431210
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論A	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる社会的諸制度について文献講読を通じて学ぶ。	○		火3			西2号館2階 第3会議室		16432010
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論B	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる政策形成と制度構築について文献講読を通じて学ぶ。	○		火3			西2号館2階 第3会議室		16432020
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論C	2	岩田康之	公教育と教師に関わるシステムについて、基本概念についてのテキスト講読を主に理解を深める。	○		火4			西2号館2階 第3会議室		16432030
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育制度論D	2	岩田康之	学校教育と教師に関わる制度的・政策的な改革動向について、事例を基に具体的な検討を加え、構造的な理解を深める。	○		火5			西2号館2階 第3会議室		16432040
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育法規・財政論A	2	大塚千尋	教育法、学校法についての講義、演習、討議を通じて、教育組織運営に必要な法的知識を体系的に学び、行政実務能力を身につける。	○			水6		中央7号館5階 教育学総合実験室		16432050
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育法規・財政論B	2	大塚千尋	学校教育に関する判例、学校法務について講義、演習、討議を通じて、行政運営に必要な危機管理能力、法的実務能力を総合的に身につける。	○			水7		中央7号館5階 教育学総合実験室		16432060
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育経営論A	2	末松裕基	教育経営改革の動向について理論的・実践的に考察し、教育経営の基礎的な理解を目指す。	○		水3					16432070
専攻展開（教育法規・行財政領域）	教育経営論B	2	末松裕基	教育経営の国際的動向について、社会・政治的背景も踏まえて理論的検討を行う。	○		水3					16432080